

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年07月03日

計画の名称	寄居町における生活環境の快適性を高める下水のみちづくり（重点計画）その2														
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○			
交付対象	寄居町														
計画の目標	下水道整備を行うことにより、快適な暮らしを実現し、良好な生活環境を創造する。														
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		909	A	909	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	下水道処理人口普及率を25.0%（R2）から26.2%（R6）に増加させる。			
	下水道汚水処理人口普及率	25%	26%	26%
	下水道整備人口（人） / 総人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	寄居町	直接	寄居町	管渠（ 污水）	新設	寄居第 2 処理分区污水枝 線整備事業	管渠整備 A=28.6ha	寄居町	■	■	■	■	■	909		-	
												小計						909		
											合計						909			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
・寄居町社会資本総合整備計画評価委員会において、数値目標の達成状況等を検証し、その結果を踏まえて今後の計画を精査し推進していく。	令和８年度
	公表の方法
	町公式ホームページにおいて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・下水道汚水処理人口普及率が整備計画当初である令和２年度の25.0%から、令和６年度末時点で28.3%と3.3%増加し、公共下水道を使用できる人数である整備人口が8,917人となった。これにより、男衾駅西口周辺の生活環境や公衆衛生の改善、公共用水域の水質保全につながった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

・社会資本総合整備計画（寄居町における生活環境の快適性を高める下水のみちづくり（重点計画）その２）により、生活環境や公衆衛生の改善、公共用水域の水質保全を図ることができた。今後は、公共下水道ストックマネジメント計画（第２期）に基づき、昭和６１年に整備開始した寄居駅周辺の管渠について、令和８年度からの５カ年で点検を実施し、その結果により必要に応じて管渠の改築・修繕を進めていく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	26%	整備事業区域内の人口が目標設定時点の想定から増加したため、実績値が目標値を上回った。
	最 終 実績値	28%	